

FLOW 4V FLOW 4VIO



FLOW 4V / FLOW 4VIO

4入力、SDカード録音、Bluetooth リモートおよび Bluetooth オーディオ、StageConnect インターフェースを搭載した映像制作向けデジタルオーディオミキサー

32ビット浮動小数点録音に対応した4つのマイクプリアンプ、2つのヘッドフォン出力、USB オーディオ /MIDI を搭載した FLOW 4V 用 StageConnect I/O エクステンダー

behringer

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

注意

- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：指定された容量の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定された容量のアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

FLOW 4V / FLOW 4VIO

1. FLOW 4V / FLOW 4VIO について

1.1. フィールドレコーダー、StageConnect I/O 拡張ユニット、USB オーディオインターフェース

FLOW 4V は、極めて広いダイナミックレンジを備えたデュアルステージ・プリアンプを 4 基搭載した 10 トラック・フィールドレコーダーです。また、単体で 32-bit フロート対応の USB オーディオインターフェースとしても機能するほか、他の StageConnect 対応機器用の I/O ボックスとしても使用できます。ステレオ AUX 入力を使用すれば、ライン・レベルの信号を録音・ミックスすることが可能です。FLOW 4V は、FLOW 4VIO を使用することで、StageConnect 経由でさらに 4 系統のリモート入力を追加し、拡張することができます。

FLOW 4VIO は、デュアルステージ・プリアンプを 4 基と、1/4 インチ TRS 出力を 2 系統搭載した I/O ボックスです。FLOW 4V と同様に、FLOW 4VIO も単体で USB オーディオインターフェースおよび他の StageConnect 対応機器用 I/O ボックスとして使用できます。

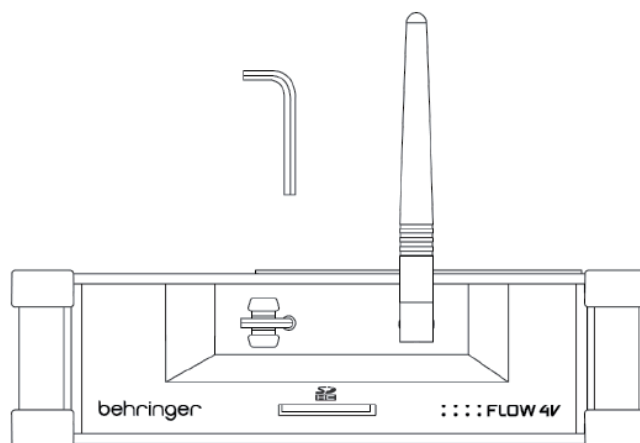
1.2. デュアルステージ・プリアンプ

新開発のデュアルステージ・プリアンプおよび A/D 変換により、マイクレベル・ラインレベルいずれのソースに対しても 142dB という驚異的なダイナミックレンジを実現しています。徹底的に最適化された入力回路により、優れた S/N 比を確保しながら、手動でのゲイン調整を必要とせずに音の歪みを防止します。入力レベルはデジタル的にトリムすることも可能で、さらなる柔軟性を発揮します。

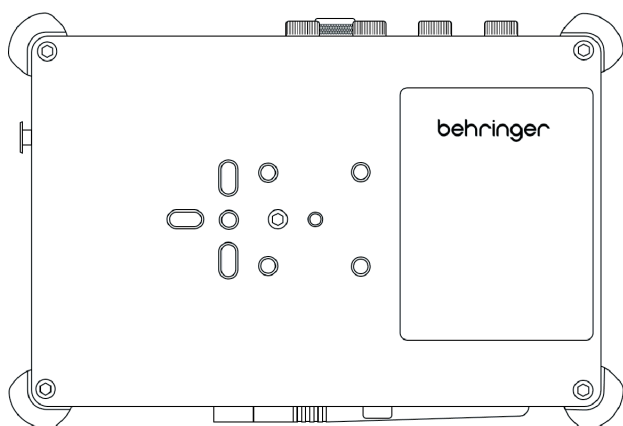
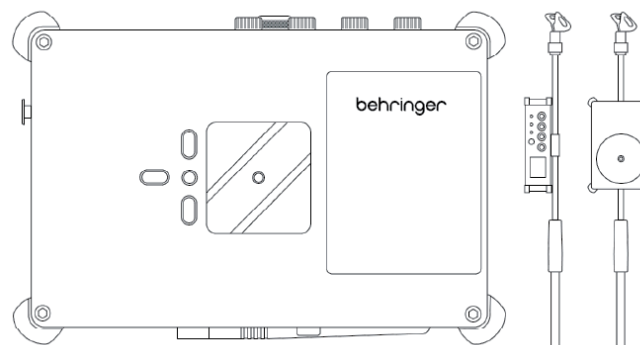
1.3. マウントオプション

FLOW 4V および FLOW 4VIO はいずれも、標準的な 1/4 インチ・ネジ穴のマウントポイントを備えており、カメラやビデオ機材への取り付けが可能です。回転防止用の穴も設けられているため、プロ用ビデオ機材に装着した際の不意の動きやネジの緩みを防止し、安定した設置状態を確保します。

FLOW 4V と FLOW 4VIO は、内蔵の 1/4 インチ・キャプティブスクリューを使用することで、しっかりと積み重ねて固定できます。本体底面にあるネジ頭を、付属のレンチを使って押しながら回すことで、他の機器へ固定することができます。対応する六角レンチは、FLOW 4V のアンテナ裏に収納されています。



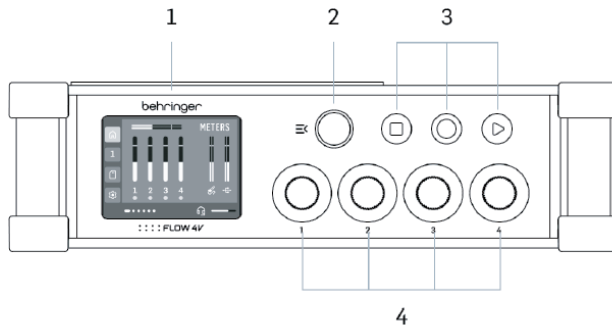
FLOW 4V と FLOW 4VIO は、内蔵の 1/4 インチ・キャプティブスクリューを使用することで、しっかりと積み重ねて固定できます。本体底面にあるネジ頭を、付属のレンチを使って押しながら回すことで、他の機器へ固定することができます。対応する六角レンチは、FLOW 4V のアンテナ裏に収納されています。



2. フロント / サイド / リアパネル

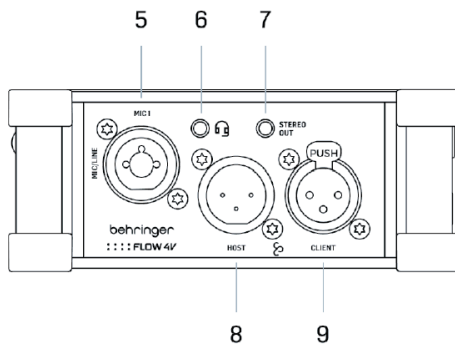
2.1. FLOW 4V

フロントパネル



1. タッチスクリーン：スワイプおよびタップ操作に対応
2. マルチファンクション・ノブ：タッチスクリーン上で選択したパラメーターのナビゲーションおよび調整を行う
3. STOP/RECORD/PLAY コントロール：SD カードへの録音を制御。トランスポートコントロールの動作は、タイムコードモードおよびプリロール設定によって異なります。詳細はセクション5.2を参照してください。
4. チャンネル 1~4 のレベルに即座にアクセスするためのコントロール

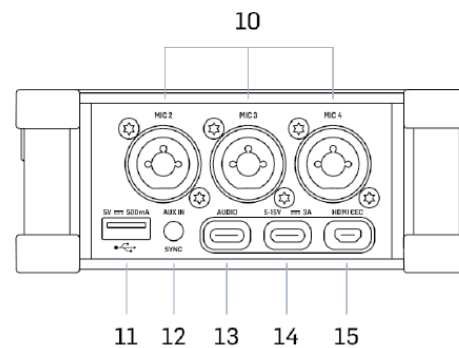
左側サイドパネル



5. MIC/LINE 入力 1
6. PHONES: モニタリングおよびトークバック兼用の 1/8 インチ TRRS ジャック (TRRS コネクタ :Tip = 左出力、Ring(1) = 右出力、Ring(2) = ヘッドセットマイク入力、Sleeve = グラウンド)
7. 1/8" ステレオ・ライン出力 (MAIN MIX): カメラの音声入力への接続用
8. StageConnect HOST ポート：他の StageConnect 対応機器に電源およびクロック同期を供給
9. StageConnect CLIENT ポート：リモート電源の受電、および SC-HOST 機器との接続用

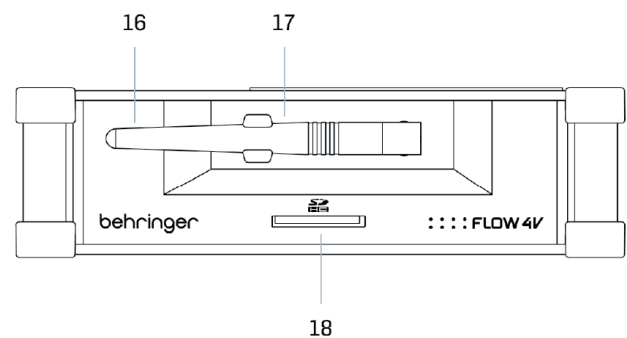
注意： FLOW 4V と 4VIO を接続する際は、DC 電源をどちらに供給するかに応じて、HOST または CLIENT いずれかの StageConnect ポートを使用してください。

左側サイドパネル



10. MIC/LINE 入力 2~4
11. USB-A ポート：USB フラッシュメモリへの自動バックアップ録音用
12. ステレオ AUX IN：または Free Run モード時の外部タイムコード SYNC 入力用
13. USB-C ポート：オーディオ伝送または電源供給用
14. USB-C ポート：電源供給用 (USB-PD 5~15VDC、3A)
15. マイクロ CEC ポート：カメラの HDMI ポートに接続することで、カメラの録音状態に自動追従

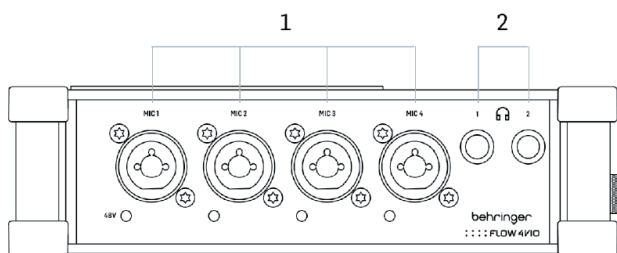
リアパネル



16. Bluetooth アンテナ：リモートコントロールおよびトークバック用
17. 六角レンチ：3mm (付属)
18. SD カードスロット：FAT32 フォーマットのカードにマルチトラック・セッションを録音するためのもの

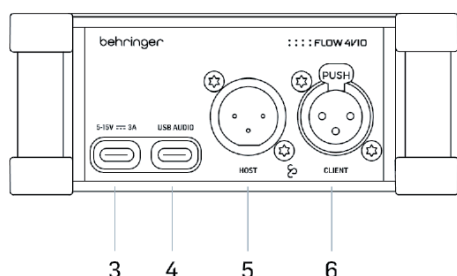
2.2. FLOW 4VIO

フロントパネル



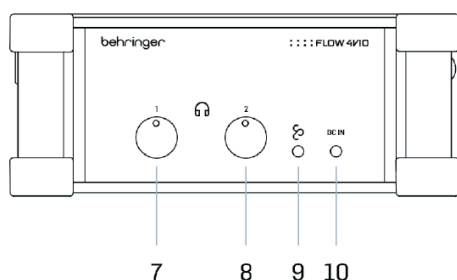
1. MIC/LINE 入力 1~4
2. 1/4" TRS PHONES OUTPUT 1・2(FLOW 4V からの StageConnect ダウンストリーム・チャンネル 1-2 および 3-4)

左側サイドパネル



3. USB-C ポート：電源供給用 (USB-PD 5~15VDC、3A)
4. USB-C ポート：オーディオ伝送または電源供給用
5. StageConnect HOST ポート：他の StageConnect 対応機器に電源およびクロック同期を供給
6. StageConnect CLIENT ポート：リモート電源の受電、および SC-HOST 機器との接続用

右側サイドパネル

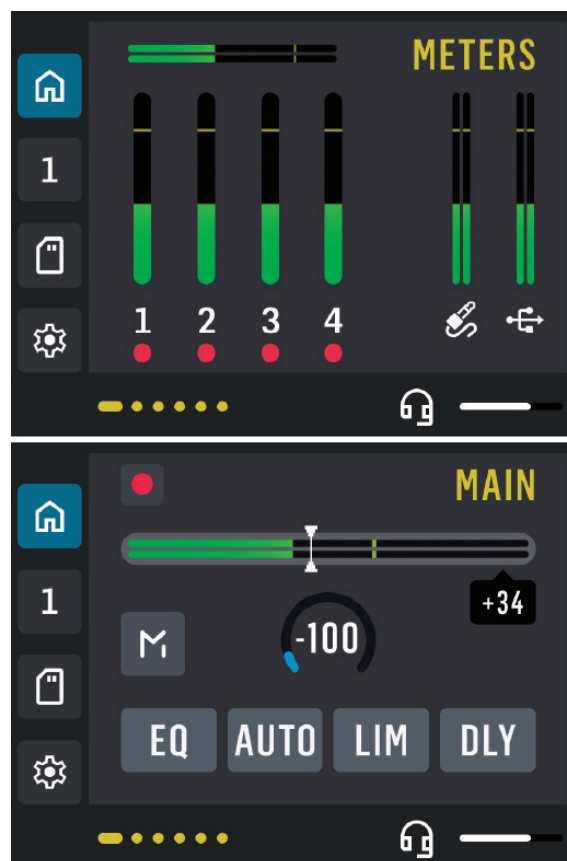


7. ヘッドホン出力 1 レベルコントロール
8. ヘッドホン出力 2 レベルコントロール
9. StageConnect のステータス LED(赤 = 未接続、緑 = 正常、黄 = 伝送エラーあり)
10. DC IN 電源 LED

3. ユーザーインターフェースのナビゲーション

グラフィック・ユーザーインターフェースは、以下のセクションで構成されています。

1. CH 1~4(4VIO 接続時は 1~8)、Aux Input、USB Input、Talkback
2. メーター / メインミックス (下図参照)
3. SD レコーダー
4. 設定



操作方法

- ・ 垂直方向にスワイプすると、チャンネルを選択できます。
- ・ 水平方向にスワイプすると、プロセッシング画面間を移動できます。
- ・ ミキサーアイコンをタップすると、メインのオーバービューとそのプロセッシング画面が開きます。
- ・ SD カードアイコンをタップすると、レコーダーが開きます。
- ・ 歯車アイコンをタップすると、一般設定 / 環境設定が開きます。

LCD 右側のマルチファンクションノブ

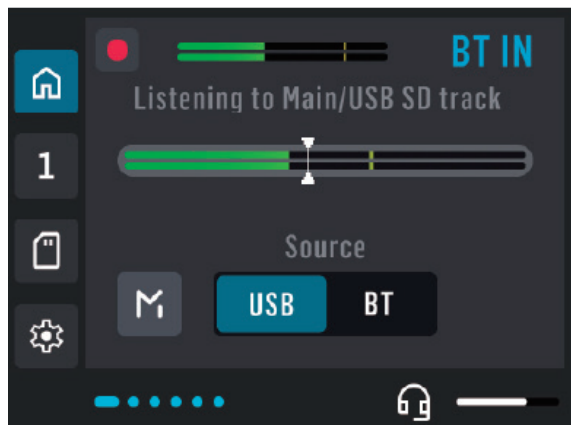
- ・ ノブを回すと、画面上のパラメーター間を移動できます。青い枠で囲まれた項目が、現在選択中の要素であることを示します。
- ・ ノブを押すと選択中のパラメーターにアクセスし、そのまま回転させることで値を調整できます。
- ・ 再度ノブを押すと、パラメーターの編集を終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

注意：パラメーターは、タッチスクリーンを直接タップして選択することも可能です。一部のパラメーター値は、タッチ & ドラッグ操作によって即座に調整することもできますが、より精密な調整を行うには、上記のマルチファンクション・ノブの使用を推奨します。

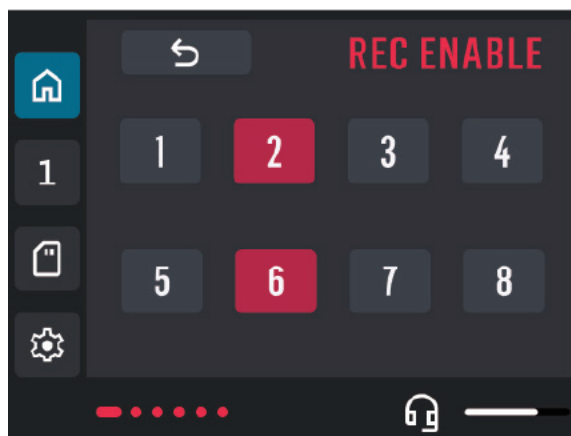
4. シグナルフローとプロセッシング

4.1. USB/BT チャンネル

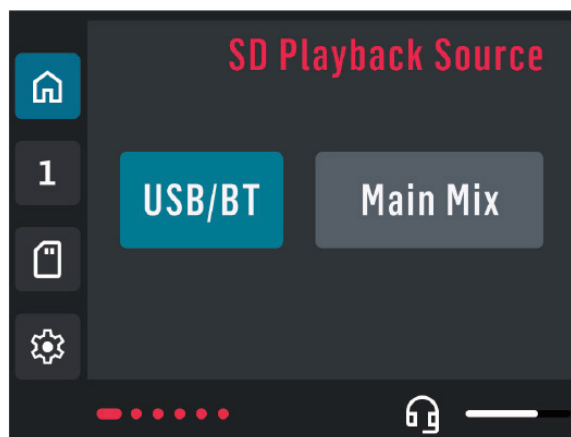
USB / BT チャンネルは、異なる 2 つの信号 (USB または Bluetooth) の録音と再生の両方に対応しています。USB In 画面下部にある Source スイッチで、モニタリングする信号を選択します。



USB または Bluetooth 信号を録音するには、Record Enable 画面でその信号を選択してください。なお、同時にアクティブにできるのはいずれか一方のみです。

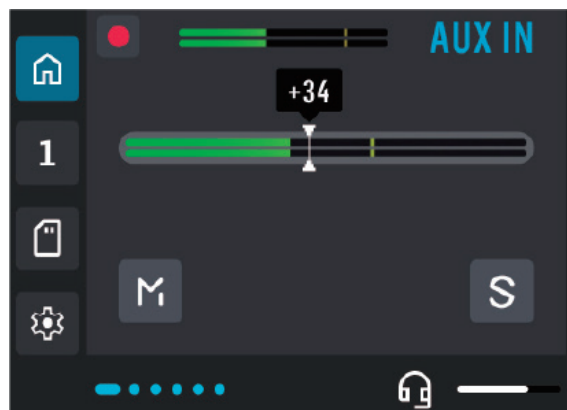


再生時には、このチャンネルを使用して、録音済みの MAIN MIX またはステレオ USB/Bluetooth 信号 (録音した方の信号) をモニタリングできます。再生する信号は、SD Playback Source 画面で選択してください。



4.2. AUX IN/SYNC チャンネル

AUX IN は、1/8" TRS ジャックに接続されたステレオ信号を扱います。



さらに、AUX IN チャンネルは、1/8" TRS コネクタのチップを介して同期信号を受信することも可能です。詳細はセクション 5.1 を参照してください。

4.3. チャンネルプロセッシング

FLOW 4V の 4 系統のローカルチャンネル (MIC/LINE 1~4)、および接続時の FLOW 4VIO の追加 4 チャンネル (MIC/LINE 5~8) には、以下のプロセッシングオプションが用意されています。

- フィルター: カットオフ周波数を調整可能なローカット / ハイカットフィルター
- トーン EQ: ティルト EQ を使用し、低音域と高音域のバランスを簡単に調整できるワンノブ・トーンコントロール
- ダイナミクス: 以下から1つを選択
 - エキスパンダー
 - ワンノブ・コンプレッサー
 - リミッター
- ブリフェーダー・ディレイ: ミックス前に各入力ソースのタイミングを揃えるための機能

4.4. METER/MAIN MIX

FLOW 4V の MAIN MIX バスには、以下のプロセッシングオプションが用意されています。

- 3バンドEQ:
 - 50Hzのローシェルフ・フィルター
 - 1kHz、Q=0.25のミッドバンド
 - 14kHzのハイシェルフ・フィルター
- 閾値調整可能なリミッター
- ポストフェーダー・ディレイ: 遅延した映像に音声出力のタイミングを合わせるための機能

4.4.1 AUTOMIX

MAIN MIX 画面の AUTOMIX パネルでは、個々のチャンネルをオートミキサーに割り当てることができます。これは、すべてのマイク信号に他チャンネルからの音の回り込みが含まれるような状況 (例: インタビューなど) で特に有効です。AUTOMIX は、開いているすべてのマイク間で全体のゲインを自動的に配分し、最もアクティブなチャンネルを優先しつつ、それ以外のチャンネルを減衰させます。

4.5 PHONES OUT と STEREO OUT (FLOW 4V)

STEREO OUT 1/8"コネクタ (TRS)は、ポストフェーダーの MAIN MIX 信号を出力します。

PHONES 1/8"コネクタ (TRS)は、MAIN MIXのコピーをプリフェーダーまたはポストフェーダーのいずれかで出力します。SOLOがアクティブな場合は、ソロバスが MAIN MIXに代わって出力されます。トークバックは、PHONES出力において MAIN MIXまたはソロバスのいずれかと常にミックスされます。

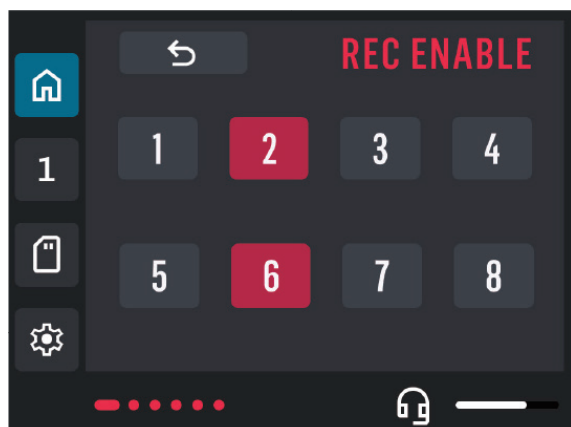
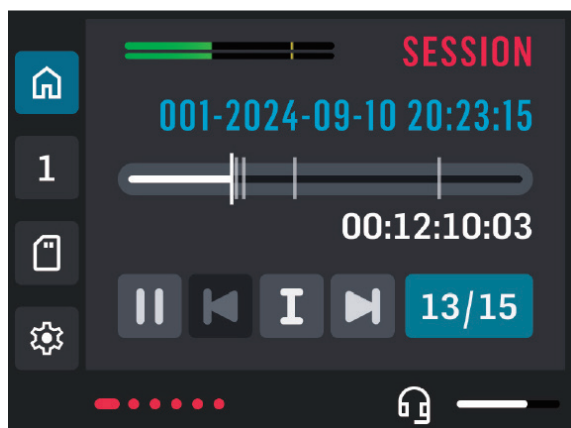
4.6 PHONES OUT (FLOW 4VIO)

FLOW 4Vに接続すると、PHONES OUTPUT 1は FLOW 4Vの STEREO OUTを、PHONES OUTPUT 2は FLOW 4Vの PHONES出力をそれぞれミラーリングします。

5. SD 録音と再生

ディスプレイ左下のSDアイコンをタップすると、SDレコーダーにアクセスできます。最初の画面ではトランスポートコントロールが表示されます。現在のセッション番号と総セッション数は、画面右下に表示されます。SDカード内のセッション数が99を超える場合は、現在のセッション番号のみが表示されます。

カードの断片化を防ぐため、新しい一連の録音を開始する前に、FLOW 4V上で直接SDカードをフォーマットすることを推奨します。左にスワイプすると2画面目が表示され、各チャンネルの録音可否(レコード・イネーブル)を設定できます。



RECORD ENABLEに設定されたソースのみがSDカードに記録され、RECORD ENABLEに設定されていないものは録音から除外されます。Main MixがRECORD ENABLEに設定されている場合、最初の2トラックをMain Mixが占有し、続いてRECORD ENABLEに設定された各チャンネルがチャンネル番号順に記録されます。

再生時には、録音済みの各チャンネルがFLOW 4Vの対応する入力チャンネルにルーティングされます。

USB/BTチャンネルは、SOURCEメニューでの選択に応じて、録音済みのUSB/Bluetoothステレオ信号、または録音済みのMain Mixのいずれかを再生できます。

AUX INチャンネルは、FLOW 4VIOから送られてくるStageConnect入力5-6または7-8を再生するように設定できます。

USB/BTおよびAUX INチャンネルのソース選択の詳細については、セクション4.1および4.2を参照してください。

Markers

Free Run タイムコードモードで録音中にマーカを追加するには、Recordボタンを押します。Time of Dayまたは Rec Runタイムコードモードで録音中にマーカを追加するには、Playボタンを押します。詳細はセクション 5.2を参照してください。

再生中にマーカを追加するには、まずマーカボタン (青色)を選択し、次にディスプレイ右側のマルチファンクション・ノブを押し込んでください。

マーカを削除するには、再生を一時停止し、目的のマーカまで移動してください。再生位置がマーカと一致すると、マーカボタンが削除機能に切り替わります。1セッションにつき、最大 99個までマーカを登録できます。

Live Sessions

LiveSessionsアプリを使用すると、FLOW 4Vで録音したマルチトラック WAVファイルを、チャンネルごとの単一 WAVファイルに変換できます。また、LiveSessionsでは、WAVファイルを必要な範囲にトリミングしたり、録音後にマーカを編集したりすることも可能です。

USB フラッシュメモリへのバックアップ

USB-Aポートに USBフラッシュメモリを挿入すると、録音を停止するたびに SDカードの録音内容がバックアップされます。

注意: ディスプレイ上に「busy」表示が出て読み書き動作を示している間は、記録メディア (SDカードまたは USBメモリ)を取り外さないでください。ファイルのクローズ処理を中断すると、録音データが使用不能になったり、失われたりする可能性があります。

5.2 トランスポートコントロール

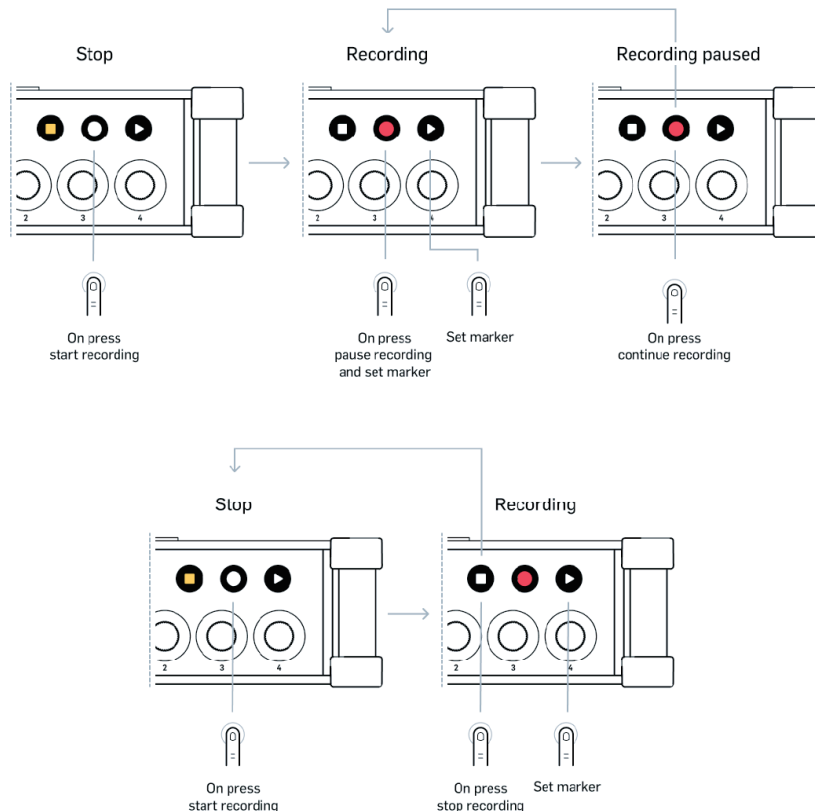
トランスポートコントロールの動作は、タイムコードモードおよびプリロール設定によって異なります。プリロールを有効にすると、Recordボタンを押した瞬間より前の5秒間も録音に含まれます。

Free Run/Time of Day

- プリロールが無効な場合:
 - トランスポートが停止中にRecord ボタンを押すと、録音が始まり、ボタンが赤色に点灯します。
 - 録音中にPlay を押すと、新しいマーカが作成されます。
 - Stop ボタンを押すと、録音が停止します。
- プリロールが有効な場合:
 - Recordボタンを押すと、プリロール期間が始まり、ボタンが赤色に点滅します。
 - プリロール期間中に Recordボタンを押すと、録音が始まり、ボタンが赤色に点灯します。
 - Stopボタンを押すと、プリロールおよび録音が停止します。

Rec Run

- 本機能内ではプリロールは使用できません
 - トランスポートが停止中にRecordボタンを押すと、録音が始まります。ボタンが赤色に点灯し、録音中であることを示します。
 - 録音中にRecordボタンを押すと、録音が一時停止し、新しいマーカが作成されます。ボタンが点滅し、録音が一時停止中であることを示します。
 - 録音が一時停止中にRecordボタンを押すと、録音が再開されます。ボタンが赤色に点灯し、録音中であることを示します。
 - 録音中にPlayボタンを押すと、新しいマーカが作成されます。
 - Stopボタンを押すと、録音が停止します。



6. USB オーディオと電源

FLOW 4VおよびFLOW 4VIOは、いずれか一方のUSB-Cポートを使用してUSB経由で給電できます。ただし、USBオーディオの伝送は、専用のUSB-Cポート「AUDIO」からのみ可能です。

USBでの録音またはストリーミングには、RecordingモードとMixingモードの2種類があります。

- **Recordingモード**: 入力チャンネルおよびMAIN MIXが、処理およびレベルコントロールを適用する前の状態で記録されます。ポストプロダクションでのミキシングに適しています。
- **Mixingモード**: 入力チャンネルおよびMAIN MIXが、FLOW 4Vでレベルおよび処理を適用した後の状態で記録されます。ライブストリーミング用途に適しています。

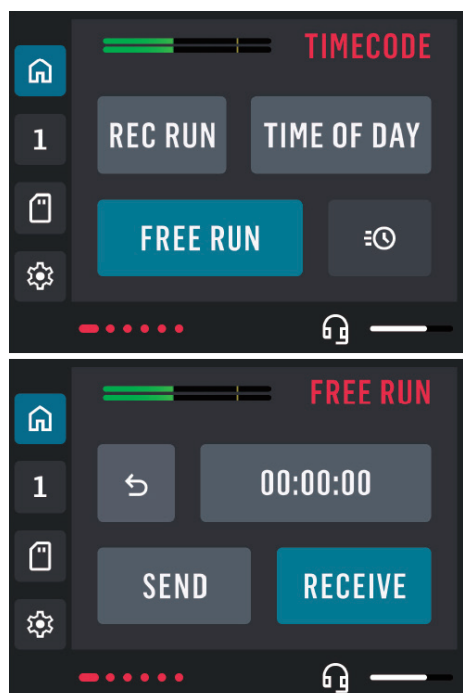
USB Recording channels	Sources
1-2	Main Mix(Stereo)
3-4	AUX IN(Stereo)
5-6	USB/BT(Stereo)
7-8	Talkback(Stereo)
9-12	Local Inputs 1-4
13-16	StageConnect Inputs 1-4

さらに、逆方向として、コンピューターからFLOW 4Vへ**USB Output 1-2**を介して2チャンネルが再生され、これらをUSB/BTチャンネルでミックスおよびモニタリングすることも可能です。

7. AUX IN とタイムコード同期

AUX IN 1/8インチTRSコネクタに接続されたステレオ信号は、FLOW 4VのAUX INチャンネルにルーティングされます。

このAUX/SYNC入力、そのチップ端子において、一時的にタイムコード同期信号を受信することができます。FLOW 4Vをこの外部クロック信号に同期させるには、FREE RUNタイムコードモードを選択し、RECEIVEをタップしてください。



8. トークバック

トークバックは、Bluetoothオーディオ接続、または1/8インチTRRS PHONESジャックにマイク内蔵ヘッドホンを接続することで受信できます。両方の信号は合成された上でPHONES出力へ送られ、録音エンジニアや制作アシスタントとのコミュニケーションを可能にします。

トークバック信号は、StageConnectチャンネル3-4を介しても送信されるため、接続されている他の機器でも利用可能です。さらに、トークバック信号は、入力チャンネルと合わせてSDカードまたはUSB経由で別途録音することも可能で、ポストプロダクションでの編集に活用できます。

9. StageConnect I/O オプション

FLOW 4VおよびFLOW 4VIOは、それぞれStageConnect HOSTポートとCLIENTポートを備えており、さまざまなセットアップへの組み込みが可能です。両機種とも、StageConnectバス上では4入力・4出力のデバイスとして認識されます。

FLOW 4Vでは、StageConnect入力チャンネル1-4が処理チャンネル5-8にルーティングされます。MAIN MIXはStageConnect出力チャンネル1-2で送信され、PHONESミックスはStageConnect出力チャンネル3-4で送信されます。

FLOW 4VIOでは、StageConnect入力チャンネル1-2および3-4が、それぞれステレオのPHONES OUTPUT 1およびPHONES OUTPUT 2にルーティングされます。MIC/LINE 1-4入力は、StageConnect出力チャンネル1-4で送信されます。

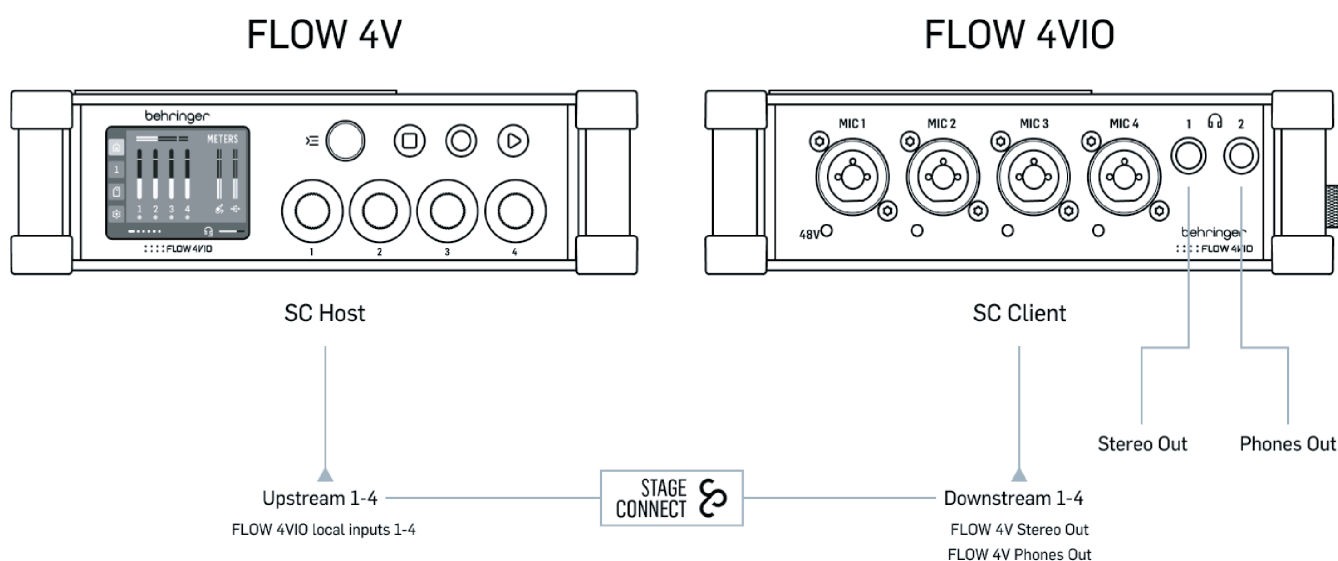
StageConnect HOSTとして使用し、USB-PD経由で12Vを供給している場合、FLOW 4VおよびFLOW 4VIOはいずれも、XLRケーブル(DMXケーブル推奨)を介してStageConnect CLIENT機器へリモート給電することができます。これにより、接続の両端のどちらにでも電源を柔軟に配置することが可能です。

10. セットアップの例

10.1. FLOW 4V と FLOW 4VIO

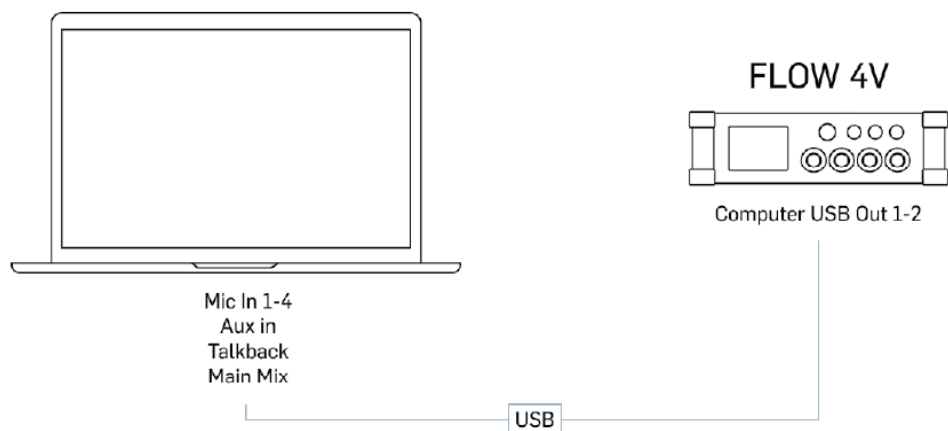
最もシンプルな構成は、FLOW 4Vと4VIOを組み合わせたセットアップです。この基本構成の中でも、設置方法にはさまざまなバリエーションがあります。たとえば、両機を単体で、あるいはカメラの下に取り付けて積み重ねる方法や、一方をカメラの下に、もう一方を音源に近いマイクスタンドに設置する方法などが可能です。

いずれの構成においても、FLOW 4Vと4VIOはStageConnectを介して接続されます。外部電源が必要なのはどちらか一方の機器のみで、もう一方はStageConnect経由で給電されます。給電されている機器がStageConnect HOSTとなり、StageConnect経由で電力を受け取る機器がStageConnect CLIENTとなります。

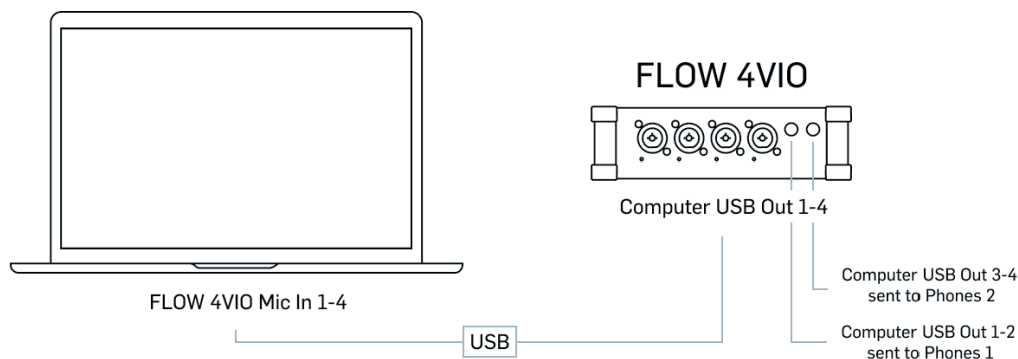


10.2. FLOW 4V / FLOW 4VIO を USB オーディオインターフェースとして利用する

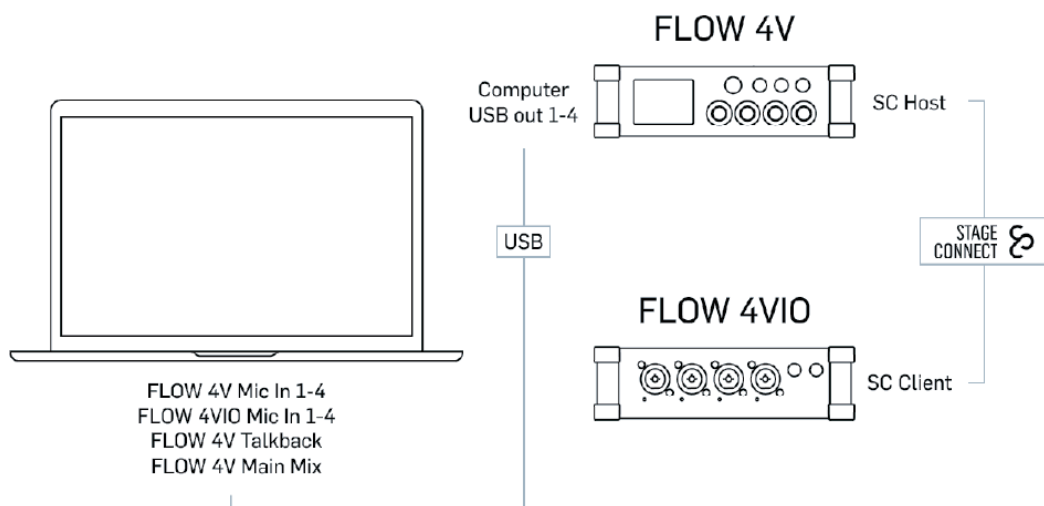
FLOW 4Vは、10入力のUSBオーディオインターフェースとして機能し、コンピューターからFLOW 4Vへの出力チャンネルも2系統備えています。FLOW 4Vへの電源供給は、コンピューターからのUSBパワーデリバリー(USB-PD)、またはUSBモバイルバッテリーのいずれかを使用することができます。



FLOW 4VIOは、4入力/4出力のUSBオーディオインターフェースとして機能します。

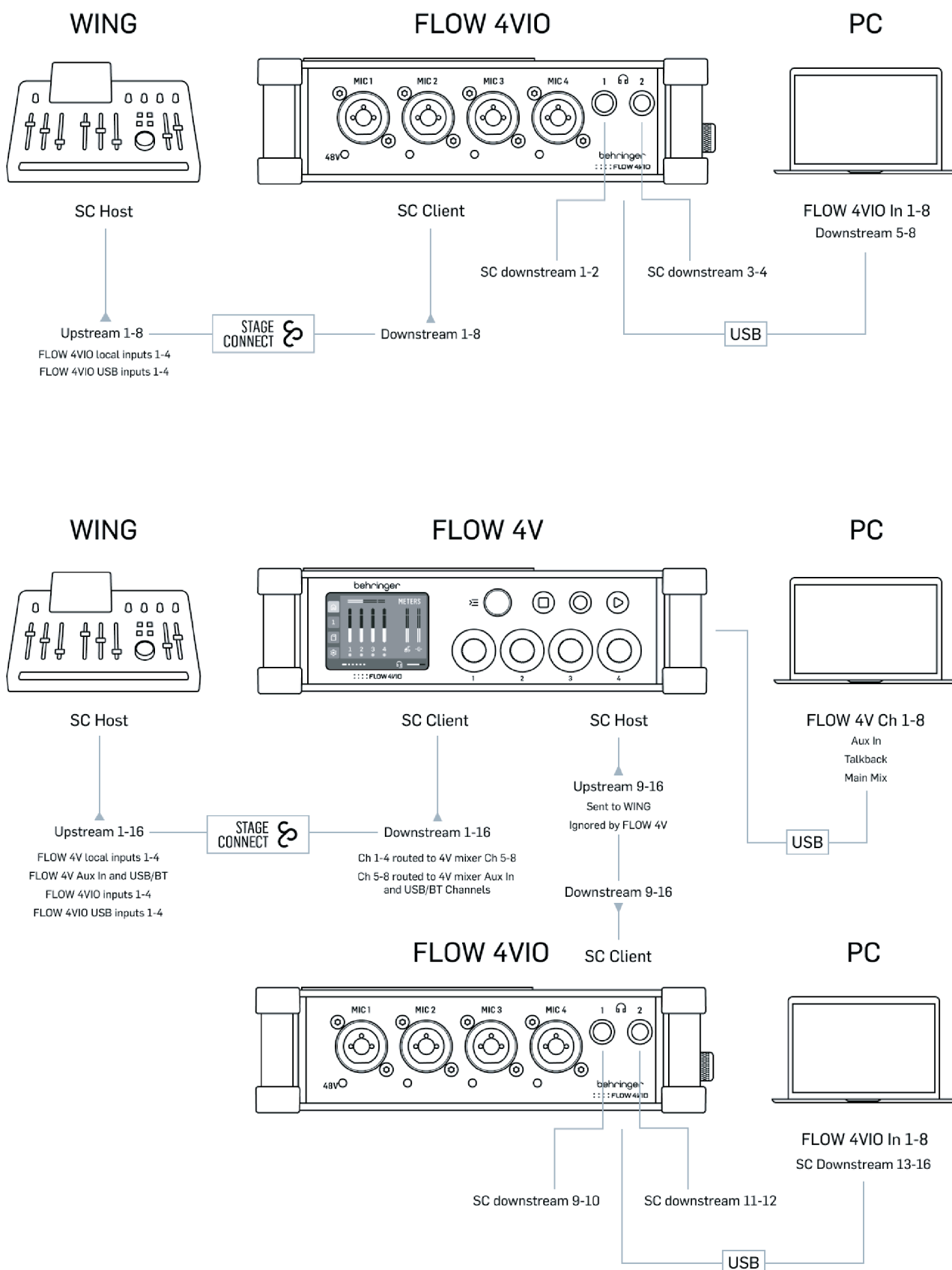


FLOW 4Vと4VIOを組み合わせると、14入力/4出力のUSBオーディオインターフェースとして機能します。



10.3. FLOW 4V / FLOW 4VIO を StageConnect I/O ボックスとして利用する

FLOW 4VおよびFLOW 4VIOは、ライブ・スタジオ双方の用途において、I/Oボックスとして機能します。FLOW 4V/4VIOは、最大2台までデジ
ジチェーン接続が可能です。

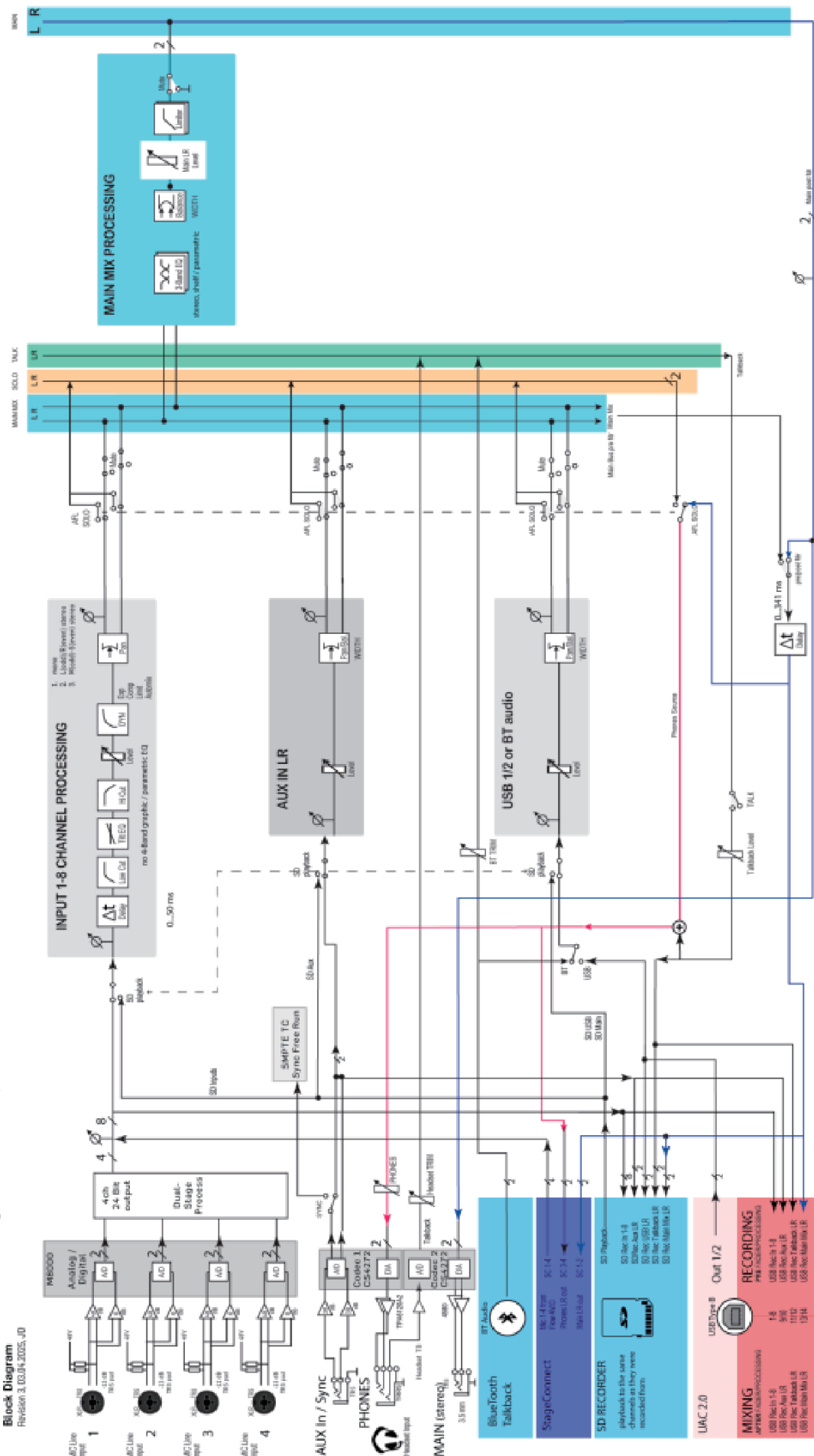


11. FLOW 4V ブロックダイアグラム

FLOW 4V Block Diagram

Revision 3.03/04.2025.4D

4-Input Audio Mixer for Video Application with Bluetooth Audio and App Control,
StageConnect and USB/Audio Interface



1/8

仕様

FLOW 4V

FLOW 4V10

General specs

Frequency Range (± 1 dB)	5 Hz – 22 kHz	
Frame Rate (fps)	29.98, 24, 25, 30, 50, 60	N/A

Mic Inputs

Type	4 x XLR / $\frac{1}{4}$ " TRS combo jacks, balanced	
Dynamic Range	142 dB (A-weighted)	
Max. Input Level	+18 dBu	
Noise Floor	-140 dBFS (unweighted)	
EIN (20 Hz to 20 kHz)	-130 dBu (unweighted)	
Distortion (THD+N) @ 600 Ω	0.005% @ -40 dBu, 0.002% @ +10 dBu	
Crosstalk rejection	-110 dB	
Impedance	XLR: 10 k Ω bal. / 5 k Ω unbal.	
Max. Gain	+ 70 dB	
Phantom power	+ 48 V, switchable	

AUX IN

Type	1 x $\frac{1}{8}$ " TRS jack, stereo	N/A
Distortion (THD+N)	0.008% @ + 6 dBu in	
Max. Input Level	+24 dBu	
Impedance	10 k Ω	

HEADSET IN/OUT

Type	1 x $\frac{1}{8}$ " TRRS jack, stereo + mic in	N/A
Impedance	40 Ω	
Max. Input Level	+10 dBu	
Max. Output Level	110 mW @ 30 Ω	
	110 mW @ 75 Ω	
	75 mW @ 300 Ω	

STEREO OUT

Type	1 x $\frac{1}{8}$ " TRS jack, stereo	N/A
Impedance	100 Ω	
Max. Output level	+4.6 dBu	

PHONES OUTPUTS

Type	N/A	2 x $\frac{1}{4}$
Max. Output level (30 Ω load)		72 mW
Distortion (THD+N, 30 Ω load)		0.005 %

USB Audio Interface

Type	USB 2.0	
Connector	Type C	
Sample Rate	48 kHz	
Bit Depth	24-bit / 32-bit float	
Channels at Host	12 in / 2 out	4 in / 4 out

StageConnect

Audio channels	8 upstream / 8 downstream	
Sample Rate	44.1 / 48 kHz	
Bit Depth	24 bit	
Phantom Power	12 V DC / 18 W	
Latency	6 samples	
Cable length	up to 40 m with 110 Ω DMX cable	

HDMI

Type	Micro HDMI	N/A
CEC	Camera controlled Rec Start	

FLOW 4V		FLOW 4V10
Bluetooth		
Frequency range	2402 MHz - 2480 MHz	N/A
Channel number	79	
Version	Bluetooth 4.2 Dual Mode	
Compatibility	Supports A2DP 1.2 profile	
Max. Communication range	12 m (without interference)	
Max. Output power	9.6 dBm	
Gain	1.84 dBi	
Power Supply / Voltage		
Connector	USB-C	
Power Supply / Voltage	USB-C PD 5-15VDC, 3A, Power Adaptor included	
Power Consumption	10 W	8 W
Dimensions / Weight		
Dimensions (H x W x D)	53 x 184 x 128 mm	
Weight	800 g	750 g

Behringer 総輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。

また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

behringer